臺灣日日新報　第一萬五千七百四號　（一）
（第二版）（附録一半面共六頁）　昭和十八年十一月十九日（金曜日）　（印刷物郵便物認可）

艦船五隻撃沈破
トロキナ沖に船團強襲

【東京發至急報】大本營發表（十一月十八日十五時三十分）帝國海軍航空部隊は十一月十七日早朝トロキナ沖海面において上空哨戒中の敵機約三十機の抵抗を排除しつつ敵輸送船團を強襲し歸途約百機の敵機と交戰せり、本戰闘において

一、敵に與へた損害
撃沈　輸送船（中型及び小型）三隻
撃破　輸送船（小型）一隻、驅逐艦一隻（炎上）
撃墜　二機、右の外揚陸點附近一箇所炎上（大火災）
二、我が方の損害　自爆未歸還合計十機

敵戰闘機廿五を屠る
マラワサで交戰
損害も甚大

【東京發】ニューギニア方面のわが航空部隊は十五日早朝マラワサ（ニューギニア東北端）地区において敵と交戰、敵戰闘機二十五機、爆撃機二機、合計二十五機、わが方損害戰闘機八機、地上にて炎上四機、爆撃二機、合計十二機、わが方撃墜戰果は敵戰闘機二十七機のほか爆撃機二機、合計二十九機、十五日マラワサ地区に來襲した敵戰闘機二十五機は、ブーゲンビル島ブインに基地を有する敵第五航空軍第三戰闘機隊に屬するP38型機二十五機で、八日のブーゲンビル西方基地に來襲した敵第五航空軍第十二戰闘機隊に屬するP38型機二十五機と推定される。

敵の人員損害も甚大
出動した艦船の過半は撃沈破

【東京發】第五次ブーゲンビル島沖航空戰において敵艦船撃沈破數は、十四日の十七日早朝の發表と合せ、巡洋艦二隻、駆逐艦二隻、輸送船十八隻、地上にて炎上四隻、撃墜二隻、合計二十五隻、わが方損害戰闘機八機、地上にて炎上四機、撃墜二機、合計十二機、わが方撃墜戰果は敵戰闘機二十七機のほか爆撃機二機、合計二十九機、十五日マラワサ地区に來襲した敵戰闘機二十五機は、ブーゲンビル島ブインに基地を有する敵第五航空軍第三戰闘機隊に屬するP38型機二十五機で、八日のブーゲンビル西方基地に來襲した敵第五航空軍第十二戰闘機隊に屬するP38型機二十五機と推定される。

五百卅二機を撃墜以上
轟撃沈八四隻以上陸以來
米軍モノ島上陸

【東京發】十月二十七日朝來ブーゲンビル島ブインに基地を有する我が陸軍航空部隊は敵ブーゲンビル島ブインに基地を有する敵第五航空軍第三戰闘機隊に屬するP38型機二十五機と交戰、これを撃墜したが、我が方の損害は戰闘機八機、地上にて炎上四機、撃墜二機、合計十二機、わが方撃墜戰果は敵戰闘機二十七機のほか爆撃機二機、合計二十九機、十五日マラワサ地区に來襲した敵戰闘機二十五機は、ブーゲンビル島ブインに基地を有する敵第五航空軍第三戰闘機隊に屬するP38型機二十五機で、八日のブーゲンビル西方基地に來襲した敵第五航空軍第十二戰闘機隊に屬するP38型機二十五機と推定される。

敵戰闘機廿五を屠る
マラワサで交戰
損害も甚大

【東京發】ニューギニア方面のわが航空部隊は十五日早朝マラワサ（ニューギニア東北端）地区において敵と交戰、敵戰闘機二十五機、爆撃機二機、合計二十七機、わが方損害

本島重工業に劃期的
高雄製鐵逞しく發足
盛大に火入式擧行
軍官民多數列席の下

社說
出血作戰順調に推移す

男子轉進に親心
生活援護費は月四十五圓

臺灣硝子工業
協會組織
硝子工業振興へ

落穗拾ひを取締れ

本年中千二百萬尾
積極的鯉の大增殖へ

年內には創立總會
南日本漁業第一回設立委員會

米搗くダイヤ娘

生産力の飛躍段階
政治力益々強化せん

內地精製糖工場
あげて重點部門に轉用

臺灣總督府官報

中風・高血壓・神經痛は
血の濁りが原因
血液を淨化して治る

鼻病なら
ビタサン

期間中における
第二島金
安藤

臺灣硝子工業協會
臺灣總督府官報
大阪高津表門筋
振替大阪九七三二番　電南七二九

總蹶起！戰力增強へ

前線は一對十一の血鬪

戰局を面直視よ世

皇后陛下より御下賜の菊花傳達式

皇后陛下の有難き思召を以て陸軍病院療養中の傷病將兵に對し、この度菊花を賜下賜あらせられたが傳達式は十八日午後二時より臺灣軍司令部内司令官公室に於て擧行、近藤參謀長、藤岡兵務部長以下各部長、田中高級參謀、永野高級副官侍立の下に、安藤臺灣軍司令官より大石陸軍病院長に對し賜下賜の菊花を傳達、同二時半閉式した、なほ、全島陸軍病院に對しては軍、迫大尉、廣畤中尉がそれ〳〵菊花を捧持して各病院に傳達する、右に關し永野高級副官は十八日左の如き謹話を發表した【臺灣發電話通信】

ただ恐懼あるのみ

永野高級副官謹話

今次皇后陛下より御下賜の菊花を陸軍病院に傳達するに當り、その任に當つた私としては、唯恐懼に堪へない次第である、私としては、唯恐懼に堪へない次第である、私としては、唯恐懼に堪へない次第である、

聖戰二周年記念事業
熱誠獻金五十萬圓
花蓮港市内のみで三ケ年計畫

【花蓮港電話】さきに決定した大東亞聖戰二周年記念との大綱に基づき花蓮港廳下に於ける同記念事業は花蓮港市内のみで三ケ年計畫を以て實施することゝなり、八日ブーゲンビル島沖航空戰大勝利が發表されるや廳内の知名士、官民有志大會を開催し、この際一擧に大東亞戰完遂の決意を表示すべく獻金運動を展開することゝなり、同日午後一時より廳内會議室に於て開催、先づ國歌齊唱、次で宮城遙拜、黙禱を捧げ、廳長、市尹、市會議長、市内各團體代表者等二百餘名參集、廳長より「大東亞戰二周年を迎へんとするに當り、この聖戰完遂の爲には一億國民が一體となり、擧國一致の實を擧げねばならぬ、特に本島は南方戰線の後方基地として重要な使命を有するが、この際本島民としても一億國民の一員として、この聖戰に協力しようと申出たに一人殘らず感激したのだ、これを大東亞戰一周年記念日を目標に三ケ年間に實現しようとするものである、この實現は官民一體の協力如何にかゝつてゐるが、この際官民共に一層奮起して大東亞戰完遂の爲に邁進しようではないか」と挨拶があり、次で市尹より「市内から五百圓を目標に三ケ年間の實施案を作成した

夕刊 臺灣日日新報 (第二版) (昭和十八年十一月九日第三種郵便物認可) 昭和十八年十一月九日 (金曜日) 第一万五千七百四號 (一)

廣九鐵路沿線肅清
第二段階に入る
珠江地區の共産軍剿抉

【重慶○○前線十八日發同盟】廣九鐵路沿線に蠢動する共匪の一掃に關しては既報の如く十月下旬より第一段階として同鐵路と珠江との間に於ける共匪の掃蕩を開始したが、引續き第二段階として珠江地區の共匪の掃蕩に移り、十一月一日より○○軍を以て珠江デルタ地帶の共匪に對し一大攻勢を開始したが、この方面の共匪は從來より相當の勢力を有し、且つ地形上の關係もあり、今回の掃蕩作戰は相當困難を豫想されてゐる

要衝合口完全占領
中支戰線

【中支○○前線十八日同盟】日軍○○部隊が廣東の北方に當る要衝合口の攻略に着手、十月廿九日以來激戰を續けてゐたが、十七日午前九時三十分○○部隊は遂に合口を完全に占領した

敢然敵舟艇に追突
白刃揮ひ敵兵殲滅
古谷偵察隊河上に大奮戰

【中支○○前線十八日發同盟】敵の退路を斷つべく行動中の古谷偵察隊は十一日夜半○○地區に於て敵の舟艇數隻を發見、これに向つて敢然突撃を敢行、白刃を揮つて敵十數名を刺殺、舟艇數隻を覆沒せしめたが、この際敵の一部は小舟艇をつゞり合せて脱出を圖つたので、隊長○○中尉は更に部下を指揮して追撃を續行、遂に

必勝不敗の信念堅持

◇……皇奉十一二月常會の申合事項……◇

總ゆる勞力を戰力增強へ

實踐振りを反省しませう

（一）必勝不敗の信念堅持

（二）實踐振りを省と反省しませう

（三）南方で邦人女性の救護訓練……（昭南）……

（四）海山の幸奉獻

（五）健兵健民日差して、社會環境の改善へ

（六）育英厚生に盡力

（七）米英に止め刺すまで掘り抜くぞ　地底に增産の雄叫び

（八）赤誠一路兵の道へ　血書志願　巢鴨高商の林浯桐君

（九）感激を報國に示す　婦人標準服講習會

（十）臺灣も內地に包含　大東亞青少年團協力會結成

（十一）過去の檢査に於ける所見

（十二）少年兵募集に當り　陸軍部

（十三）將兵慰問金

（十四）クロバー

（十五）今夜の組番

（十六）期朝の番組

（十七）俺ん水くさ

（十八）

（十九）

（二十）

（二十一）

（二十二）

（二十三）

（二十四）

（二十五）

（二十六）

（二十七）

（二十八）

（二十九）

（三十）

（三十一）

（三十二）

（三十三）

（三十四）

（三十五）

（三十六）

（三十七）

（三十八）

（三十九）

（四十）

（四十一）

（四十二）

（四十三）

（四十四）

（四十五）

（四十六）

（四十七）

（四十八）

（四十九）

（五十）

（五十一）

（五十二）

（五十三）

（五十四）

（五十五）

（五十六）

（五十七）

（五十八）

（五十九）

（六十）

（六十一）

（六十二）

（六十三）

（六十四）

（六十五）

（六十六）

（六十七）

（六十八）

（六十九）

（七十）

（七十一）

（七十二）

（七十三）

（七十四）

（七十五）

（七十六）

（七十七）

（七十八）

（七十九）

（八十）

（八十一）

（八十二）

（八十三）

（八十四）

（八十五）

（八十六）

（八十七）

（八十八）

（八十九）

（九十）

（九十一）

（九十二）

（九十三）

（九十四）

（九十五）

（九十六）

（九十七）

（九十八）

（九十九）

（百）

（百一）

（百二）

（百三）

（百四）

（百五）

（百六）

（百七）

（百八）

（百九）

（百十）

（百十一）

（百十二）

（百十三）

（百十四）

（百十五）

（百十六）

（百十七）

（百十八）

（百十九）

（百二十）

（百二十一）

（百二十二）

（百二十三）

（百二十四）

（百二十五）

（百二十六）

（百二十七）

（百二十八）

（百二十九）

（百三十）

（百三十一）

（百三十二）

（百三十三）

（百三十四）

（百三十五）

（百三十六）

（百三十七）

（百三十八）

（百三十九）

（百四十）

（百四十一）

（百四十二）

（百四十三）

（百四十四）

（百四十五）

（百四十六）

（百四十七）

（百四十八）

（百四十九）

（百五十）